HX ストレージ クラスタのモニタリング

- HyperFlex クラスタのモニタリング （1 ページ）
- パフォーマンス チャートの表示 （1 ページ）
- HX Data Platform プラグイン インターフェイスの使用法 （6 ページ）
- HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング （8 ページ）

HyperFlex クラスタのモニタリング

この章では、HX Storage Cluster次のインターフェイスを通じて利用できるモニタリングの内容について説明します。

- HX Connect
- HX Data Platform Plug-in
- ストレージ コントローラ VM コマンド ライン

パフォーマンス チャートの表示

[Monitor Performance] タブでは、ストレージ クラスタ、ホスト、データストアの読み込みと書き込みに関するパフォーマンスが表示されます。

- パフォーマンス チャートでは、ストレージ クラスタ、ホスト、データストアのパフォーマンスが図表形式で表示されます。
- システムは、20 秒ごとにパフォーマンス チャートを更新します。
- 個々のデータ ポイント上でマウスを移動することで、パフォーマンスのピークに関する情報やタイムスタンプが表示されます。
- 薄い青は書込み操作を表し、濃い青は読み込み操作を表します。
- パフォーマンス チャート内のギャップは、データを使用できなかった期間を示します。ギャップは必ずしもパフォーマンスの低下を示すものではありません。

ストレージ クラスタのパフォーマンス チャート

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[cluster]** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

左側には、モニタ対象として選択できるオプションが 3 つあります（[Storage Cluster]、[Hosts]、および [Datastores]）。

ステップ 2 [Storage Cluster] をクリックして、[Storage Cluster Performance] タブを表示します。

ステップ 3 [Hour]、[Day]、[Week]、[Month]、[Max]、[Custom] オプションをクリックして、ストレージ クラスタのパフォーマンスを表示する時間帯を指定します。

ステップ 4 [IOPS]、[Throughput]、[Latency]、[Show] のチェック ボックスをクリックして、選択したパフォーマンスとオブジェクトを表示します。

ホスト パフォーマンスのチャート

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[cluster]** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

左側には、モニタ対象として選択できる 3 つのオプションが表示されます（[Storage Cluster]、[Hosts]、および [Datastores]）。

ステップ 2 [Hosts] をクリックして、[hosts performance] タブを表示します。

ステップ 3 [Hour]、[Day]、[Week]、[Month]、[Max]、または [Custom] オプションをクリックして、ホスト パフォーマンスを表示する時間帯を指定します。

ステップ 4 [IOPS]、[Throughput]、[Latency]、[Show] のチェック ボックスをクリックして、選択したパフォーマンスとオブジェクトを表示します。

ステップ 5 個別のホストを除外したり表示したりするには、[*host*] をクリックします。コンピューティング ノードには、ストレージ クラスタ パフォーマンス値はありません。

データストア パフォーマンスのチャート

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[cluster]** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

左側には、モニタ対象として選択できるオプションが 3 つあります（[Storage Cluster]、[Hosts]、および [Datastores]）。

ステップ 2 [Datastores] をクリックして、[datastores performance] タブを表示します。

ステップ 3 [Hour]、[Day]、[Week]、[Month]、[Max]、[Custom] オプションをクリックして、データストア パフォーマンスを表示する時間帯を指定します。

ステップ 4 [IOPS]、[Throughput]、[Latency]、[Show] のチェック ボックスをクリックして、選択したパフォーマンスとオブジェクトを表示します。

[Performance] ポートレット

[Performance] ポートレットには、HX Data Platform ストレージ クラスタのパフォーマンスに関する詳細情報が表示されます。ここでは、20秒間隔でプロットされた、過去1時間のパフォーマンス データが表示されます。[Performance] ポートレットのチャートは、ストレージ クラスタ全体のデータを示します。

ストレージ クラスタ、データストア、ホスト レベルのパフォーマンス レポートに関する詳細については、[Monitor] タブを選択します。

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[*cluster*]** > **[Summary]** の順に選択します。

ステップ 2 [Performance] ポートレットにスクロールします。

オプション	説明
IOPS	1 秒当たりの入出力処理。
スループット	ストレージ クラスタのデータ転送レート。単位は MBps です。
遅延	遅延は、1 つの I/O リクエストが完了するまでに要する時間の尺度です。これは、リクエストが発行され応答が受信されるまでの時間長です。msec 単位での測定値です。
Current	チャートの最新のデータ ポイントの値。
Past Hour	データ ポイントの最後の 1 時間のチャート。

[Datastore Trends] ポートレット

[Datastore Trends] ポートレットは、選択したデータストアの IO パフォーマンスのチャートです。

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[*cluster*]** > **[Manage]** の順に選択します。

ステップ 2 [table] リストから、[datastore] を選択します。[Summary] タブを更新して、選択したデータストアの情報を表示します。

ステップ 3 スクロールして、[Trends] ポートレットを表示します。

タブでは、20 分ごとにプロットされた IOPS を表示します。

ピーク値の上にマウス オーバーし、色分けされた読み取り IOPS と書き込み IOPS を取得します。

パフォーマンス チャートのカスタマイズ

パフォーマンス チャートを変更して、オプションの一覧の一部またはすべてを表示します。

カスタマイズされたアイテム	説明
Time period	[hour]、[days]、[week]、[month]、[all]、または [custom] から選択します。この章の「パフォーマンス期間の指定」のセクションを参照してください。
Cluster objects	ストレージ クラスタ、ホスト、またはデータストアのリストから選択します。
Chart type	[IOPS]、[Throughput]、[Latency] から選択します。
Show objects	表示するオブジェクトのデータを一覧から選択します。この章の「パフォーマンス チャートの選択」のセクションを参照してください。

パフォーマンス期間の指定

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > ***[cluster]*** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

ステップ 2 次のいずれかのタブをクリックして、ストレージクラスタ、ホスト、データストアのパフォーマンスを表示する時間を指定します。

パラメータ	説明
時間	過去の時間のパフォーマンスを表示
Day	過去の日付のパフォーマンスを表示
Week	過去の週のパフォーマンスを表示
Month	過去の月のパフォーマンスを表示

パラメータ	説明
すべて（**All**）	ストレージクラスタのパフォーマンスを作成された時点から表示
Custom	このタブを選択し、「カスタム範囲の指定」で説明されているようにカスタム範囲を指定します

カスタム範囲の指定

ステップ 1 vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > **[cluster]** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

ステップ 2 [Custom] タブをクリックして、[Custom Range] ダイアログボックスを表示します。

ステップ 3 [Custom Range] ダイアログボックスのメソッドを選択します。

a) [Last] をクリックして、分、時、日、月の数字を入力します。必要に応じて、上下の矢印を使用して数字を増やしたり減らしたりします。

b) ドロップダウン リストをクリックして、分、時、日、週、月の数字を指定します。

c) [From] をクリックし、[calendar] アイコンをクリックして、パフォーマンスの測定を開始する日付を選択します。ドロップダウン リストをクリックして、時間を選択します。

d) [To] をクリックし、[calendar] アイコンをクリックして、パフォーマンスの測定を終了する日付を選択します。ドロップダウン リストをクリックして、時間を選択します。

ステップ 4 [Apply] をクリックし、次に [OK] をクリックして設定を適用します。

パフォーマンス チャートの選択

パフォーマンス チャートを選択して、ストレージ クラスタ、ホスト、データストアを表示できます。

タブの下部の [IOPS]、[Throughput]、[Latency] に対応するチェックボックスを選択もしくは選択解除して、特定の情報を表示します。

たとえば、ストレージ クラスタの IOPS パフォーマンスのみを表示するには、次の操作を行います。

a) vSphere Web クライアント ナビゲータから、**[vCenter Inventory Lists]** > **[Cisco HyperFlex Systems]** > **[Cisco HX Data Platform]** > ***[cluster]*** > **[Monitor]** > **[Performance]** の順に選択します。

b) [Storage Cluster]、[Hosts]、[Datastores] のチャート設定のいずれかをクリックします。[Hosts] テーブルでは、ストレージ クラスタにストレージを提供しないように、コンピューティング ノードは [IOPS]、[Throughput]、[Latency] の値を表示しません。

c) チャート オプションの選択を解除します。

フィールド	説明
Chart types	チェックボックスをクリックして、どのテーブル列を表示または隠すかを選択します。次のオプションがあります。 • IOPS • スループット • 遅延
Show	各ストレージクラスタ、ホスト、データストアの場合、チェックボックスをクリックしてチャートに含むまたは除外する特定のオブジェクトを選択します。
読み取り/書き込み	チャートでの各オブジェクトの読み込みや書き込みの値の色分けを示します。
Storage Cluster	チャート内のストレージ クラスタ名。
ホスト	チャート内のホスト名。これには、コンバージドノードとコンピューティング ノードの両方が含まれます。
Datastores	チャート内のデータストア名。
IOPS Read/Write	1 秒当たりの入出力処理の最新のデータ ポイント。
Throughput Read/Write（Mbps）	ストレージ クラスタのデータ転送レートの最新のデータ ポイント。Mbps で測定されます。
Latency Read/Write（msec）	1 つの I/O リクエストが完了するまでに要する時間の尺度である、[Latency] の最新のデータ ポイント。これは、リクエストが発行され応答が受信されるまでの時間長です。単位は msec です。

HX Data Platform プラグイン インターフェイスの使用法

インターフェイス全体に適用されるいくつかの HX Data Platform プラグイン機能があります。これらについては、次の各項を参照してください。

Cisco HX Data Platform プラグインと vSphere Web クライアントの統合

HX Data Platform プラグインは VMware vSphere vCenter インターフェイスと緊密に統合されており、シームレスなデータ管理エクスペリエンスを提供します。vSphere Web クライアントまたは vSphere クライアント vSphere vCenter インターフェイスのいずれかを使用できます。このガイドのタスクの例のほとんどは、vSphere Web クライアント インターフェイスを参照します。

vSphere vCenter インベントリ リストから HX Data Platform プラグインにアクセスします。HX Data Platform プラグインから管理するストレージ クラスタを選択します。HX Data Platform プラグインは、ストレージクラスタ固有のオブジェクト（データストアなど）をモニタおよび管理します。vSphere は、ストレージ クラスタ内のオブジェクト（ESX サーバなど）をモニタおよび管理します。HX Data Platform プラグインと vSphere でタスクが重複します。

Cisco HX Data Platform プラグインと vSphere インターフェイス間のリンク

vSphere Web クライアントでは、HX Data Platform プラグインと vCenter の両方が、コンポーネントとクラスタのステータスに関する情報を提供します。一部のタブとパネルでは、HX Data Platform プラグインと vCenter の情報およびアクションの間に直接リンクがあります。

HX Data Platform プラグインまたは vCenter からのリンクをたどる場合、リンク元の位置に 1 回のクリックで戻ることができるリンクが存在するわけではない点に注意してください。

Cisco HX Data Platform プラグイン タブの概要

HX Data Platform プラグインのモニタリング情報と管理機能は、3 つのタブに分けられています。HX Data Platform プラグインのすべてのタブとパネルを次に示します。これらのタブとパネルには HX Data Platform ストレージ クラスタ ステータスと、ストレージ クラスタ管理タスクのオプションが表示されます。

[Summary] タブには、[Summary] エリアと [Portlets] エリアが表示されます。[Summary] タブのポートレットは、[Capacity]、[Performance]、[Status] です。

[Monitor] タブには 2 つのサブタブがあります。

- [Performance] タブ：ストレージ クラスタ、ホスト、およびデータセンタの [Latency]、[Throughput]、および [IOPs] パフォーマンス チャートが表示されます。
- [Events] タブ：HX Data Platform イベントのリストと、選択されているイベントの詳細パネルが表示されます。

[Manage] タブには 2 つのサブタブがあります。

- [Cluster] タブ：ストレージ クラスタ、ホスト、ディスク、PSU、および NIC が示されます。これには、クラスタとホストのリスト、選択されているクラスタまたはホストの詳細パネル、追加のサブタブ（[Hosts]、[Disks]、[PSU]、[NIC]）が含まれます。

- [Datastores] タブ：データストアの観点からのホストに関する情報を示します。これには、データストアのリストと、選択されているデータストアの追加のサブタブが含まれます。データストアのサブタブには、[Summary] タブと [Hosts] タブがあります。[Summary] タブには、[Details]、[Trends]、[Top VMs by Disk Usage] の各ポートレットが含まれています。

HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング

HX Connect ユーザ インターフェイスは、HX ストレージ クラスタのステータス、コンポーネント、および暗号化やレプリケーションなどの機能のビューを提供します。

主要なモニタリング ページには、ローカルの HX ストレージ クラスタに関する情報が含まれています。

- [Dashboard]：HX ストレージ クラスタ ステータスの概要です。
- [Alarms, Events, Activity]：詳細は、Cisco HyperFlex Systems Troubleshooting Guideを参照してください。
- [Performance]：IOPS、スループット、遅延、およびレプリケーション ネットワーク帯域幅のグラフ。
- [System Information]：システムの概要、およびノードとディスクのステータスとタスク。

  サポート バンドルを生成するにはCisco HyperFlex Systems Troubleshooting Guide、メンテナンス モードを起動および終了するにはストレージ クラスタのメンテナンス操作の概要、ノードまたはディスクのビーコンを設定するにはビーコンの設定を参照してください。
- [Datastores]：データストアに関連するステータスおよびタスク。
- [Virtual Machines]：仮想マシンの保護に関連するステータスおよびタスク。

追加の HX Connect ページでは、管理アクセスを提供します。

- [Encryption]：保管中のデータのディスクおよびノードの暗号化タスク。
- [Replication]：ディザスタ リカバリのための VM 保護タスク。

[Upgrade] ページは、HX Data Platform および Cisco UCS Manager ファームウェア アップグレード タスクへのアクセスを提供します。

[Dashboard] ページ

重要 読み取り専用ユーザには、ヘルプで利用可能なすべてのオプションが表示されるわけではありません。HX Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。

HX ストレージ クラスタのステータスの概要が表示されます。これは Cisco HyperFlex Connect にログインしたときに表示される最初のページです。

UI 要素	基本情報
[Operational Status] セクション	HX ストレージ クラスタとアプリケーション パフォーマンスの機能の状態を示します。 [Information]（ⓘ）をクリックして HX ストレージ クラスタ名とステータス データにアクセスします。
[Resiliency Health] セクション	データのヘルス ステータスと、HX ストレージ クラスタの耐障害性を示します。 [Information]（ⓘ）をクリックして復元力ステータスと、レプリケーションおよび障害データにアクセスします。
[Capacity] セクション	ストレージの合計の内訳と、ストレージの使用中または未使用の容量が表示されます。 ストレージの最適化、圧縮、およびクラスタに格納されているデータに基づく重複排除比率も表示されます。
[Nodes] セクション	HX ストレージ クラスタ内のノード数と、コンバージド ノード対コンピューティング ノードの区分が表示されます。ノード アイコンの上にマウスを移動すると、そのノードの名前、IP アドレス、ノードの種類が表示され、容量、使用率、シリアル番号、およびディスクの種類のデータへのアクセスが可能なディスクがインタラクティブに表示されます。
[Performance] セクション	設定可能な時間の HX ストレージ クラスタのパフォーマンス スナップショットを表示し、IOPS、スループット、および遅延データを表示します。 詳細については、[Performance] ページを参照してください。
[Cluster Time] フィールド	クラスタのシステム日付および時刻。

テーブル ヘッダーの共通のフィールド

HX Connect のいくつかのテーブルは、テーブルに表示される内容に影響を与える次の 3 つのフィールドのうち 1 つ以上を提供します。

UI 要素	基本情報
[Refresh] フィールドおよびアイコン	HX Cluster の動的な更新のためにテーブルを自動的に更新します。タイムスタンプは、テーブルが更新された最終時刻を示します。 コンテンツを今すぐ更新するには円形のアイコンをクリックします。
[Filter] フィールド	入力したフィルタ テキストに一致する項目のみテーブルに表示します。以下の表の**現在の**ページに記載されている項目は自動的にフィルタ処理されます。入れ子になったテーブルはフィルタ処理されません。 [Filter] フィールドに選択テキストを入力します。 [Filter] フィールドを空にするには、[x] をクリックします。 テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックして、フィルタを適用します。
[Export] メニュー	テーブル データの**現在の**ページのコピーを保存します。テーブルの内容は、選択したファイル形式でローカル マシンにダウンロードされます。リストの項目をフィルタ処理すると、フィルタ処理されたサブセット リストがエクスポートされます。 エクスポート ファイルの形式を選択する下矢印をクリックします。ファイルの形式のオプションは、`cvs`、`xls` および `doc` です。 テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックして、エクスポートを適用します。

[Activity] ページ

vSphere から収集された HX ストレージ クラスタの最近のアクティビティのリストを表示します。Ready Clones、VM 電源オン / オフ、メンテナンス モードの入 / 切のように、HX ストレージ クラスタで最新タスクの進捗をモニタできます。

UI 要素	基本情報
[Expand All] と [Collapse All] ボタン	[Activity] リストのビューを切り替えて、最上位のタスク情報またはタスク詳細を表示します。 個別のタスクを展開したり折りたたんだりすることもできます。

UI 要素	基本情報
[Activity] リスト	次の詳細を含む最近のタスクの一覧が表示されます。 • ID • 説明 • VM 電源のオン/オフ/一時停止ステータス • タスク ステータス： • **In Progress** • **Success** • **不合格** VM 電源の操作に失敗した場合は、[Existing State] フィールドと [Required State] フィールドも含まれます。 • 日付とタイムスタンプ • Progress bar 展開された [Activity] リストには、タスクのステップ名とステータスが表示されます。 コンテンツを今すぐ更新し、最近のアクティビティを取得するには、円形のアイコンをクリックします。更新間隔は 5 分です。

[System Information Overview] ページ

ノードとディスクのデータを含めた HX ストレージ クラスタ システムに関連する情報を表示し、HX メンテナンス モードへのアクセスを提供します。

HX ストレージ クラスタ構成データ

この HX ストレージ クラスタの基本的な構成情報が表示されます。

UI 要素	基本情報
[HX storage cluster] フィールド	このストレージ クラスタの名前です。

UI 要素	基本情報
[HX storage cluster status] フィールド	HX ストレージ クラスタの機能ステータスを提供します。 • [Online]：クラスタの準備ができています。 • [Offline]：クラスタの準備ができていません。 • [Read Only]：クラスタでスペースが不足しています。 • [Unknown]：クラスタがオンラインになるときの移行状態です。
[vCenter] リンク	このHXストレージクラスタに関連付けられたVMware vSphereへのセキュアなURLです。リンクをクリックしてvSphere Web Clientにリモート アクセスします。
[Hypervisor] フィールド	この HX ストレージ クラスタにインストールされているハイパーバイザのバージョンです。
[HXDP Version] フィールド	この HX ストレージ クラスタにインストールされているインストーラ パッケージのバージョンです。
[Data Replication Factor] フィールド	この HX ストレージ クラスタに保存されている冗長データのレプリカの数です。
[Uptime] フィールド	この HX ストレージ クラスタがオンラインになっている時間の長さです。
[Total Capacity] フィールド	このクラスタの全体的なストレージ サイズです。
[Available Capacity] フィールド	このクラスタの空きストレージの容量です。
DNS Server(s)	この HX ストレージ クラスタの DNS サーバの IP アドレスです。
NTP Server(s)	この HX ストレージ クラスタの NTP サーバの IP アドレスです。

ノード データ

このHXストレージクラスタ内の個々のノードに関するデータが表示されます。この情報を表形式で表示するには、[Nodes] ページに移動します。

UI 要素	基本情報
[Node] フィールド	このクラスタ上のノードの名前です。
[Model] フィールド	このノードの物理ハードウェアのモデル番号です。

UI 要素	基本情報
[Disks] フィールド	このノードの永続的なディスクに対するキャッシュ ディスクの数です。
[Node status] フィールド	• **Online** • **Offline** • **In Maintenance** • **Healthy** • **警告**
[HXDP Version] フィールド	このノードにインストールされているインストーラ パッケージのバージョンです。
[Type] フィールド	• **Hyper Converged** • **コンピューティング**
[Hypervisor Status] フィールド	• **Online** • **Offline** • **In Maintenance** • **In Progress**
[Hypervisor Address] フィールド	この HX ストレージ クラスタの管理ネットワークで使用する IP アドレスです。

ディスクのあるノードでは、ディスクのインタラクティブな表示が、次のポップアップデータとともに表示されます。

表 *1*:キャッシュ ディスク

UI 要素	基本情報
[Slot Number] フィールド	ドライブの場所です。
[Serial Number] フィールド	このディスクの物理シリアル番号です。
[Disk State] フィールド	• **準備**
[Capacity] フィールド	ディスク サイズの合計です。
[Locator LED] フィールド	ディスクを探すために役立つホスト上の物理光を有効にします。オプションは、[On] と [Off] です。

表 *2:* 永続ディスク

UI 要素	基本情報
[Slot Number] フィールド	ドライブの場所です。
[Serial Number] フィールド	このディスクの物理シリアル番号です。
[Disk State] フィールド	• **準備** • **Blacklisted** • **To Be Removed**
[Used / Total Capacity] フィールド	合計ディスク サイズに対する使用されているディスクの容量です。
[Storage Usage] フィールド	使用されているディスク ストレージの割合です。
ロケータ LED	ディスクを探すために役立つホスト上の物理光を有効にします。オプションは、[On] と [Off] です。

[Nodes] ページ

8 列の表にこの HX のストレージ クラスタ内のすべてのノードに関するデータが表示されます。各列をデータの並べ替えに使用できます。

UI 要素	基本情報
[Enter HX Maintenance Mode] ボタン	このボタンにアクセスするには、ノードを選択します。 [Confirm HX Maintenance Mode] ダイアログボックスを開きます。
[Exit HX Maintenance Mode] ボタン	このボタンにアクセスするには、ノードを選択します。 すべてのメンテナンス タスクが完了したら、手動で HX メンテナンス モードを終了する必要があります。
[Node] カラム	この HX ストレージ クラスタ上のノードの名前です。
[Hypervisor Address] カラム	この HX ストレージ クラスタの管理ネットワークで使用する IP アドレスです。
[Hypervisor Status] カラム	• **Online** • **Offline** • **In Maintenance** • **In Progress**

UI 要素	基本情報
[Controller Address] カラム	HX ストレージ コントローラ VM の IP アドレス。
[Controller Status] カラム	• **Online** • **Offline** • **In Maintenance**
[Model] カラム	このノードの物理ハードウェアのモデル番号です。
[Version] カラム	このノードにインストールされている HyperFlex Data Platform インストーラ パッケージのバージョンです。
[Disks] カラム	ノード内のディスクの数です。 数をクリックすると、選択したノード名でフィルタ処理した [Disks] ページが開きます。

[Disks] ページ

7 列の表にこの HX のストレージ クラスタ内のすべてのディスクに関するデータが表示されます。各列をデータの並べ替えに使用できます。

UI 要素	基本情報
[Node] カラム	ディスクが存在するノードの名前です。
[Slot] カラム	SED ドライブの場所です。これはメンテナンス作業のためのドライブを識別します。
[Capacity] カラム	ディスク サイズの合計です。

UI 要素	基本情報	
[Status] カラム		次の状態は無視できます。 • **Invalid** • **標準** • [Removed]：[Secure Erase] オプションを使用した後にSEDディスクが削除された状態です。 • **Time out** • **不明（Unknown）**

UI 要素	基本情報	
	• [Available]：新しく追加された、保管中データ対応のディスクの初期の状態です。 また、他の状態のいずれかにディスクが移動するときの移行状態です。 • [Blacklisted]：ソフトウェアのエラーまたはI/Oエラーが原因でディスクがクラスタによって使用されていないときの状態です。これは、ディスクがまだ利用可能な場合、クラスタがディスクを修復しようとしており、[Repairing]の状態に移行する前の移行状態である可能性があります。 • [Claimed]：ディスクが認識され、使用中の状態です。 • [Ignored]：ディスクがクラスタによって使用されていない状態です。たとえば、HX コントローラ VM システム ディスク、他のデータ（有効なファイル システム パーティション）を含むディスク、またはI/Oの障害が発生しているディスクです。 • [Ok To Remove]：SEDディスクが [Secure Erase] オプションを使用して安全に消去されており、安全に削除できる状態です。 （注） Cisco HX Data Platform 2.5 では、[Ok To Remove] の状態になったディスクは、クラスタによって使用されません。 • [Repairing]：ブラックリスト登録済みディスクが現在修復され	

UI 要素	基本情報	
	ている状態です。 • [To Be Removed]：ディスクが RMA にスケジュールされているときの状態です。	
[Encrypted] カラム	• [Enabled]：この保管中データ対応ディスクには暗号化が設定されています。 • [Disabled]：この保管中データ対応ディスクには暗号化は設定されていません。 これは、新しいディスクが存在するが、キーがまだ適用されていない場合に発生します。 • **Locked** • **不明（Unknown）**	
[Type] カラム	• **不明（Unknown）** • [Rotational]：ハイブリッド ドライブ • [Solid State]：SSD ドライブ	
[Usage] カラム	• **不明（Unknown）** • **Cache** • **永続**	
[Turn On Locator LED] および [Turn Off Locator LED] ラジオ ボタン	ラジオ ボタンにアクセスするには、ディスクを選択します。 ディスクを探すために役立つホスト上の物理光またはビーコンを、アクティブ化または非アクティブ化します。	
（省略可能）[Secure Erase] ボタン	このボタンは、HX ストレージ クラスタがローカル キー暗号化を使用して暗号化されている場合にのみ表示されます。 ボタンにアクセスするには、ディスクを選択します。 クラスタで使用中の暗号化キーを入力し、[Secure Erase] をクリックしてから [Yes, erase this disk] をクリックし、ローカルの暗号化キーを安全に消去します。	